

太い丸太を人力で 軽トラに積み込む技

『小さい林業で稼ぐコツ』より

現在、猛烈編集集中の書籍や雑誌、映像作品から、担当者がとっておきのニュースを紹介するコーナーです。今回は山の話。



山から運び出してきた巨大なスギ丸太を軽トラに人力で積み込んだところ。このあと麓の材木集積場まで運ぶ。島根県雲南市住民グループの搬出講習会にて

この秋、山林を持つ農家に向けて、『小さい林業で稼ぐコツ 軽トラとチェーンソーがあればできる』という単行本を発行する。林業というと、「山は儲からないだろ?」と反発されてしまいそうだが、近頃はそうでもない。

ご存じのように今や薪ストーブブームで、薪が売れる。木質バイオマス発電所があるところなら、その燃料としても売れる。「木の駅」とよばれる丸太の買い取りシステムも、各地で始まった。価格はそんなに高くなっても、伐採や搬出を森林組合などに頼むのではなく、自分で切って運び出せば、意外に手元にお金が残る。この本ではそうやって稼ぐときのコツを具体的にまとめている。

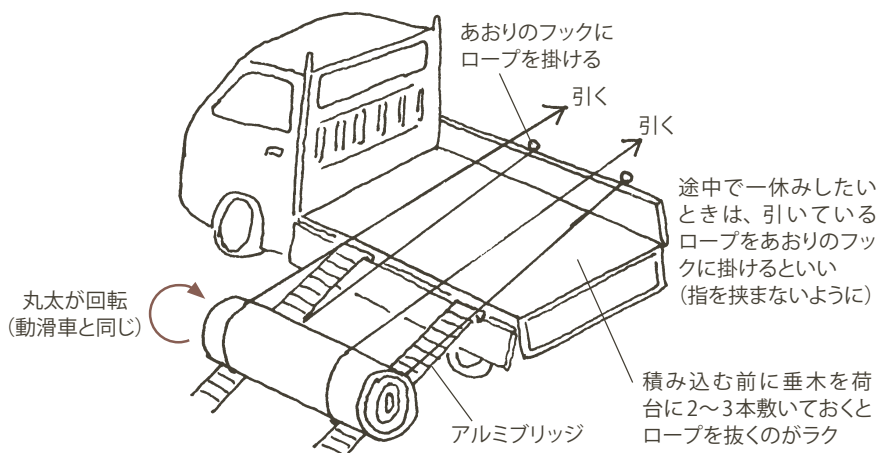
今回はその中から「搬出の技」を紹介したい。切った木を山から運び出す「搬出」は、じつは「木を切るより大変」といわれる作業。運び出してきた重たい丸太を軽トラなどに積み込む際にも普通はウインチなどの機械が必須だが、このやり方ならなんと、人力でできる。女性でもできる。

太い木が ラクに積める 掛け縄方式

トラックのあおりのフックに2本のロープを掛け、丸太に回して引けば、滑車の原理で1/2の力で積める。写真のような直径40cmの4m材も2人で積めた！ 市場に出荷して高単価が期待できる立派な材だ。熊本県宇城地区林研グループ研修会にて



図1 掛け縄方式のしくみ

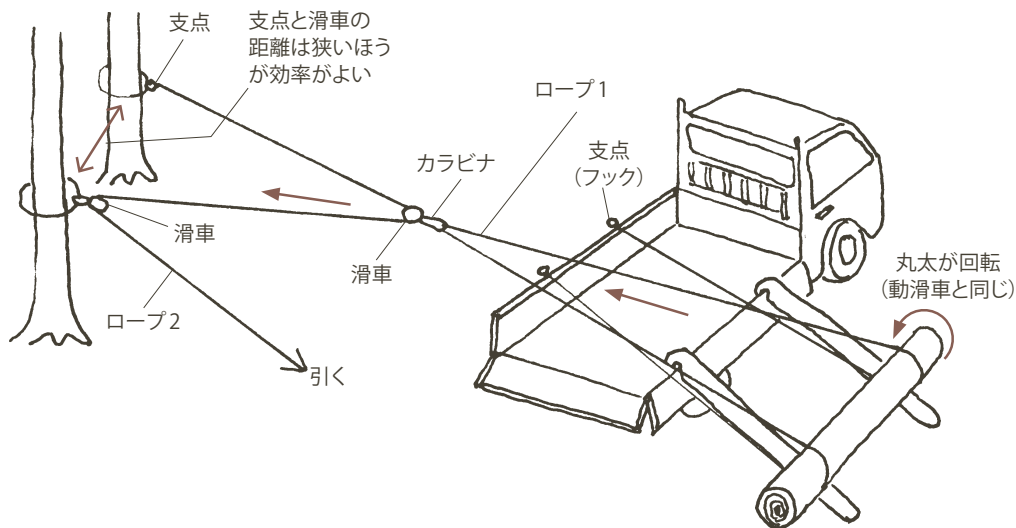


もっと
重い木が積める
滑車掛け縄
方式



さらに滑車を加えると、もっと重たい木が人力で積める。写真の島根県江津市市民向けロープワーク林研修会ではもう1台の軽トラの鳥居を支点にしたが、近くの立木を支点にしてもよい

図2 滑車掛け縄方式のしくみ





写真は山形県鶴岡市の温海町森林組合で行なわれている初心者向け講習会「サラリーマン林太郎」の様子。チェーンソーを使って実際に木を倒し、適当な長さに切ったり、林道まで運び出したりするやり方を学ぶ(奥山淳志撮影)

前ページのやり方を教えてくれた、島根県津和野町の高濱徹さん(匹見・縄文の森協議会)は、山に入る人を一人でも増やしたいと考えて、各地で盛んに技術講習会を開いている人物だ。今回の本の編集意図も同じ。ついつい山に入りたくなるような内容にしたいと全力編集集中だ。元にしたのは『現代農業』の兄弟誌『季刊地域』の記事。これまでの特集「山、見て見ぬふ

りをやめるとき」や「木は切ってもカネにならないは本当か?」「山の仕事で田園回帰」の記事を中心に、チェーンソーのメンテと使い方などは『現代農業』の山関係の記事も組み込んだ。「山は儲からないだろ?」と思っている農家にこそ読んでもらいたい。林業はかつてに比べて断然、ハードルが低くなってきている。

小さい林業で稼ぐコツ

B5判 128ページ (カラー 64ページ)
 予価2000円+税 9月下旬発行予定、予約受付中

- パート1 自分で切れば意外とお金になる編**
 薪で売る/木の駅で売る/木質バイオマス発電所で需要急上昇/短木も小径木も意外に売れる
- パート2 チェンソーを使いこなす編**
 装備とチェンソーの選び方/エンジン始動のコツ/疲れない姿勢と持ち方/玉切りをうまくやるコツ/目立てのバンドコロ/伐倒のコツ
- パート3 小さい林業で稼ぐための基礎知識編**
 山の境界/間伐の基本/稼ぐためのコツ/補助金
- パート4 木を運ぶ道具・機械編**

